

(平成24年3月分)

部 門	市況の概要
野 菜	3月期の野菜の入荷状況は、多くの品目で生育期の低温や日照不足等の天候不順から作柄不良がみられ入荷減となった。野菜全体の入荷量は、前年同期を9%下回った。 価格は、入荷減となった多くの品目で単価高となった。前年単価高であった土物類では、単価安となった。野菜全体では、前年同期を19%上回った。 品目別には、バレイショが入荷増の単価安、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、ホウレンソウ、レタス、キュウリ、ナス、トマト、ピーマンが入荷減の単価高、西洋ニンジン、タマネギが入荷減の単価安となった。 根菜類は、入荷が8%減少し、価格は17%高となった。 葉菜類は、入荷が14%減少し、価格は30%高となった。 果菜類は、入荷が15%減少し、価格は40%高となった。 土物類は、入荷が3%減少し、価格は16%安となった。
果 実	3月期の果実の入荷状況は、柑橘類では、品目により様々で、前年が裏年であったミカン、前年が不作であった不知火では、入荷増となった。一方、天候不順から作柄不良であったイヨカンでは、入荷減となった。柑橘類全体では、入荷増となった。リンゴ類、イチゴ類では、天候不順の影響から、入荷減となった。メロン類では、多くの産地で加温用重油の高騰から作付面積を減少させており、入荷減となった。果実全体の入荷量は、前年同期を8%下回った。 価格は、柑橘類では、入荷増であったミカン、デコポンまた、下位等級の入荷が多かったイヨカンで単価安となった。一方、リンゴ類、イチゴ類、メロン類では、多くの品目で入荷減により単価高となった。果実全体では前年同期を12%上回った。 品目別には、ミカン、不知火が入荷増の単価安、ふじ、イチゴ、アールスメロンが入荷減の単価高、イヨカンが入荷減の単価安となった。 柑橘類は、入荷が10%増加し、価格は15%安となった。 リンゴ類は、入荷が29%減少し、価格は53%高となった。 イチゴ類は、入荷が12%減少し、価格は19%高となった。 メロン類は、入荷が30%減少し、価格は42%高となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	長崎県、徳島県を中心に、滋賀県、鹿児島県、神奈川県からの入荷。各産地とも低温と曇天が続いた影響から作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を１０％下回った。 価格は、入荷減により前年同期を５１％上回った。
西洋ニンジン	鹿児島県を中心に、徳島県、愛知県、長崎県からの入荷。各産地とも低温と曇天が続いた影響から作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を１０％下回った。 価格は、入荷減ながら、前年が高値であったことから、前年同期を１６％下回った。
【葉菜類】 ハクサイ	長崎県を中心に、兵庫県、滋賀県、茨城県、愛知県からの入荷。多くの産地で生育期の低温、多雨の影響から作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を２０％下回った。 価格は、入荷減であったこと、また、加工、業務需要が堅調であったことから、前年同期を２３％上回った。
キャベツ	愛知県を中心に、兵庫県、滋賀県、大阪府、鹿児島県からの入荷。主力の愛知県産、兵庫県産で生育期の低温、多雨の影響から作柄不良がみられ、全体の入荷量は、前年同期を９％下回った。 価格は、入荷減であったこと、また、加工、業務需要が堅調であったことから、前年同期を１４％上回った。
ホウレンソウ	京都府を中心に、徳島県、茨城県、滋賀県、和歌山県、からの入荷。主力の京都府産、徳島県産で生育期の低温、日照不足の影響から作柄不良がみられ、全体の入荷量は、前年同期を９％下回った。 価格は、入荷減であったことから、前年同期を２６％上回った。
レタス	兵庫県を中心に、徳島県、長崎県、岡山県、茨城県からの入荷。各産地ともに生育期の低温、多雨の影響から作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を３２％下回った。 価格は、入荷減であったことから、前年同期を９０％上回った。
【果菜類】 キュウリ	宮崎県を中心に、高知県、滋賀県、徳島県、愛媛県からの入荷。各産地とも低温と曇天が続いた影響から作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を２０％下回った。 価格は、入荷減により前年同期を７３％上回った。

ナス	高知県を中心に、岡山県、徳島県からの入荷。 多くの産地で生育期の天候不順により作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を33%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を36%上回った。
トマト	熊本県を中心に、福岡県、三重県、佐賀県、京都府からの入荷。 主力の熊本県産、福岡県産で生育期の天候不順により、小玉傾向での入荷となった。全体の入荷量は、前年同期を15%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を41%上回った。
ピーマン	宮崎県を中心に、高知県、鹿児島県、大分県からの入荷。 多くの産地で、低温と曇天が続いた影響から作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を17%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を41%上回った。
【土物類】 バレイショ (メーク含む)	北海道を中心に、鹿児島県、長崎県からの入荷。 主力の北海道産の貯蔵品の入荷は、順調であった。鹿児島県産では、日照不足と多雨の影響から月中旬までの入荷は少なかったものの下旬から回復した。全体の入荷量は、前年同期を15%上回った。 価格は、入荷増であったこと、また、前年が高値であったことから、前年同期を22%下回った。
タマネギ	北海道を中心に、兵庫県、長崎県、静岡県、タイからの入荷。 主力の北海道産の貯蔵品の入荷は、順調であったが、長崎県産、静岡県産では、日照不足と低温の影響から入荷減となった。全体の入荷量は、前年同期を15%下回った。 価格は、入荷減ながら、前年が高値であったことから20%下回った。
【その他野菜】 生シイタケ	徳島県を中心に、広島県、北海道、和歌山県、岡山県からの入荷。 多くの産地で、低温の影響から発生が少なく、入荷量は、前年同期を6%下回った。 価格は、入荷減により、前年同期を4%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	和歌山県を中心に、徳島県、香川県、福岡県、佐賀県からの入荷。主力の和歌山県産で、9月以降、高温や降雨が続いた影響から作柄不良がみられた。入荷量は、前年が裏年で入荷が少なかったことから前年同期を39%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を26%下回った。
イヨカン	愛媛県を中心に和歌山県、広島県からの入荷。 主力の愛媛県産で、生育期の天候不順により、着色不良等の作柄不良がみられた。全体の入荷量は、前年同期を15%下回った。 価格は、入荷減ながら下位等級の入荷が多く、前年同期を15%下回った。
不知火	愛媛県を中心に、和歌山県、福岡県、佐賀県、香川県からの入荷。主力の愛媛県産では、特に大きな気象災害等は出ておらず、順調な入荷となった。前年が不作であったことから、全体の入荷量は、前年同期を8%上回った。 価格は、入荷増であったこと、また前年が高値であったことから、前年同期を13%下回った。
ふじ （サン含む）	青森県を中心の入荷。 生育期の天候不順により作柄不良がみられ、入荷量は、前年同期を32%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を63%上回った。
イチゴ	福岡県、熊本県、大分県を中心に、佐賀県、長崎県からの入荷。 多くの産地で、低温と曇天が続いた影響から作柄不良がみられ入荷減となった。下旬から生育の回復がみられたものの月全体の入荷量は前年同期を12%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を19%上回った。
アールス	静岡県を中心に、高知県からの入荷。 加温用重油の高騰から作付面積を減少させている。入荷量は、前年同期を26%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を40%上回った。